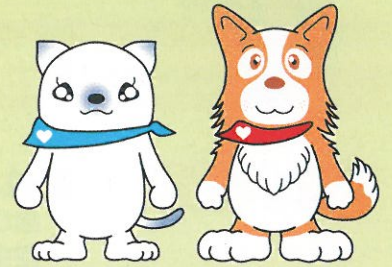


動物由来感染症

から身を守るために…



動物由来感染症とは？

「動物由来感染症」とは、動物から人間へうつる感染症をあらわす言葉です。我が国は、温帯に位置する島国という地理的要因のため、熱帯・亜熱帯に多いとされている動物由来感染症が近年までほとんどありませんでした。

しかし、現在の交通手段の発達による人や物(動物も含む)の膨大な移動、経済発展に伴う地球環境の変化、海外から輸入される動物や野生動物のペット化などを背景として、従来知られていなかった感染症の発生や昔あった感染症の再発生が危惧されています。



どんな注意をしたらいいの？

● 狂犬病予防注射と登録



● 過剰なふれあいは控えましょう

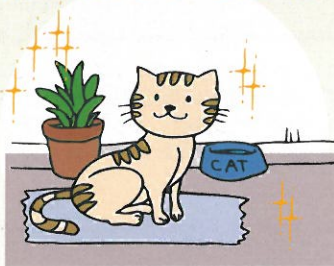
エサの口移しやスプーン・はしの共用はやめましょう。



● 動物にさわったら必ず手を洗いましょう



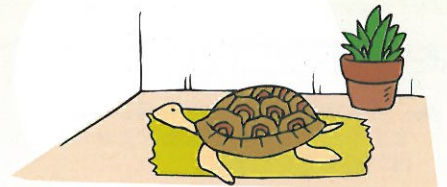
● 動物の身の回りは清潔にしましょう



● 糞尿はすみやかに処理しましょう



● 輸入野生動物の飼育はやめましょう



● 室内で動物を飼育する時は換気を心がけましょう



● 体に不調を感じたら

- 体に不調を感じたら早めに受診をしてください。動物由来感染症の病原体に感染しても動物は無症状なことがあるため、知らないうちに飼い主が感染してしまう場合があります。医療機関を受診する際はペットの飼育状態についても医師に話しましょう。
- 動物も定期検診を受けるなど日常の健康管理に注意しましょう。





どんな病気があるの？

ペット動物

●ねこ

猫ひっかき病、トキソプラズマ症、
回虫症、Q熱、**狂犬病**



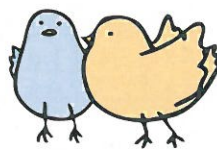
●犬

パストレラ症、
皮膚糸状菌症、**狂犬病**



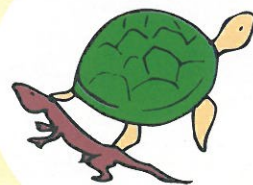
●小鳥

オウム病



●カメ・トカゲ

サルモネラ症

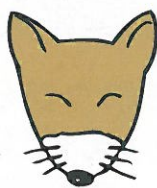


予防のポイント：節度あるふれあい・手洗

野生動物

●野鳥・カラス

オウム病、ウエストナイル熱



●キツネ

エキノコックス症、**狂犬病**

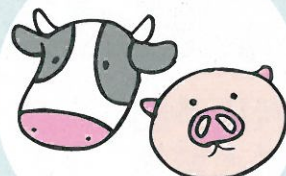


予防のポイント：接触を避ける

家畜

●ウシ・家禽

Q熱、クリプトスポリジウム症、
腸管出血性大腸菌、高病原性鳥インフルエンザ



予防のポイント：適切な衛生管理

※赤字はわが国で病原体がまだ、もしくは長期間発見されていない病気



狂犬病は怖い病気って知っていますか？

狂犬病Q & A



Q. 狂犬病は人にも感染するのですか？

A. 狂犬病はすべての哺乳類に感染することが知られており、もちろん人も例外ではありません。人も動物も発症するとほぼ100%死亡します。

Q. 人はどのように感染しますか？

A. 主に狂犬病に感染した動物に咬まれ、唾液中に排出されるウイルスが傷口より体内に侵入することにより感染します。

Q. どのくらいの人が狂犬病に感染して亡くなっているのですか？

A. 世界保健機構（WHO）の推計によると、世界では年間におおよそ5万5千人の人が亡くなっています。また、このうち3万人以上はアジア地域での死亡者と言われています。

Q. 狂犬病を発症した場合に治療法はありますか？

A. 狂犬病は一旦発症すれば効果的な治療法はなく、ほぼ100%の方が亡くなります。感染動物に咬まれるなど感染した疑いがある場合には、その直後から連続してワクチンを接種（暴露後ワクチン接種）をすることで発症を抑えることができます。

Q. 狂犬病に感染してから発症するまで、どのくらいの期間がありますか？

A. 狂犬病は感染してから発症するまでの期間（潜伏期）が一般に1ヶ月から3ヶ月、長い場合には感染してから1年から2年後に発症した事例もあります。なお、発症前に感染の有無を診断することが出来ません。

Q. 海外旅行ではどんなことに気をつけたらよいですか？

A. 動物を見かけても不用意に触らないことが大切です。海外、特に東南アジア等の流行国で犬ねこ又は野生動物に咬まれた場合はすぐに医療機関を受診してください。

正しい知識を持ち、適切な予防対策を行って、動物との絆を大切にしましょう。

詳しいことは、厚生労働省のホームページをご覧ください。 <http://www.forth.go.jp/mhlw/animal/index.html>